町史編さん室だより

伊吹おろし

1月から2月にかけては、年間を通して寒い日が続きます。そして、濃尾平野で冬に伊吹山の方角から吹く冷たい風を総称して「伊吹おろし」と呼んでいます。

まず、「おろし」の意味を調べてみました。国語辞典では、「冬季に山などから吹き下ろす風のこと」とあります。気象に関する図書には、おろしが吹く仕組みとして「シベリア高気圧からの風が日本海で吸収した水蒸気は、ほとんどの場合山脈を越えることができない。そのため、日本海側で雪となって水蒸気が失われる。その後、この風は太平洋側へと吹きこむ。この時、高地の冷気を引きずり下ろすことがある。冬の寒冷な局地風（きょくちふう）は、このようにしてできる」。（『天気と気象大図鑑』2021年刊）とあります。

日本海側に雪を降らし、山を越えて太平洋側に吹く乾いた冷たい風が「おろし」であり、越えてきた山の名前をつけて「○○おろし」という名称が日本各地にあるようです。

関東で「からっ風」と呼ばれているのは「赤城（あかぎ）おろし」、関西では「六甲おろし」、東海地方では濃尾平野で「伊吹おろし」、伊勢平野で「鈴鹿おろし」、静岡県富士川沿いでは「富士川おろし」などが知られています。

このように、日本各地で局地的に吹く風なので、気象用語として局地風のひとつとされています。

「伊吹おろし」で調べてみると、「冬季に滋賀県の伊吹山から吹き降ろす北北西の冷たく乾燥した局地風のことで、愛知県の濃尾平野から渥美半島まで吹く。最大風速は秒速10ｍから15ｍ程度」（『身近な気候の事典』2011年刊行）とあり、渥美半島まで風が届いていることに驚かされます。

問合せ先
町史編さん室　☎95-3464

▲伊吹山
（令和３年１月25日中央公民館から撮影）

ウィル大口NEWS VOL.26

こちらよりホームページをご覧いただけます↑

3月20日㈰は、ウィル大口スイムフェスティバル！

25m以上泳げる小中高校生が参加できます。今年のスイムフェスティバルも、新型コロナ感染症防止対策を取りながらおこないます。日頃の練習の成果を発揮しましょう！

※参加者は水泳帽子の着用が必要です。
※詳細はホームページをご覧ください。
申込み　２月６日（日）午後５時まで

春の短期水泳教室開催

３月25日（金）から27日（日）までの３日間、恒例の短期集中水泳教室を開催！春休み中に、苦手を克服しちゃいましょう！90分間のレッスンを３日連続しておこなうことで、いつもより上達が早いことが見込めます。詳細はホームページをご覧ください。

教室一覧　多種目スポーツ／水泳／サッカー（尾張FC）／幼児体操／園児体操／小学生体操／チアダンス／硬式テニス／ソフトテニス／バレーボール／フィールドホッケー／のびのび健康体操／健康麻雀／うたごえ喫茶／プログラミング／イングリッシュスクール

指定管理施設　オークマグラウンド／オークマ温水プール／わかしゃち国体記念運動公園／秋田グラウンド／河北グラウンド／総合テニスコート／大口町テニスコート／大口町野球グラウンド／ゲートボール場

NPO法人ウィル大口スポーツクラブ事務局　オークマ温水プール2階　（月曜・火曜休業日）　☎95-1313
水曜日から土曜日　午前10時から午後6時／日曜日　午前10時から午後5時　（午後0時30分から1時30分除く）